

クラス番号	625	担当教員名	小林 洋司
テーマ	持続可能な社会作りに資する<福祉>教育・<ボランティア>学習に関する研究		
著書・論文	「合理的配慮をめぐる対話を阻むもの—自己開示を可能にする条件の検討—」		
研究課題等	「福祉科教育法研究の動向と展望-『福祉を教えること』に関する基礎的研究-」		
	「福祉科教育法と ESD 実践の接点-『福祉を教えること』に関する方法論的検討-」 「福祉教育・ボランティア学習としてのハンセン病問題学習の構築」 など		

ゼミナール概要

キーワード：

目的、内容、方法等：

本ゼミナールでは、人間が変容していく場面（フォーマル・ノンフォーマル・インフォーマル）について多様な学習者を想定しながら、実践・研究を進めることを通して「社会づくり」を担っていく「人財」を育成していくことを目的とする。具体的には、以下のような学習目標を想定している。

- ①多様な学習者の学びの様態の考察を通して、自身の学習観・知識観について考えることができる。
 - ・ひとつの問題が多くの問題とつながっていることについて考察を深めることができる。
 - ・一つひとつの「いのち」の存在と実感を大切にできるようになる。
- ②学びの現場を創成したり、改善したりするアイデアを身につけることができる。
- ③学習場面における相互作用を意識し、学ぶ視点を持つことができる。

以上のような目標を達成するべく、研究や実践の理論及び手法に関する学習を進めていく。

授業計画： 詳細は未定であるが以下のような内容の学習を進めていく予定である。

- ・社会福祉問題・社会問題に関する基礎的学習
- ・学習者理解に関する学習
- ・「学習の方法」に関する学習
- ・福祉教育・ボランティア活動に関する学習
- ・学習の「機会」を豊かにする「仕掛け」に関する学習
- ・体験的な学習を「振り返る」ことによる学習
- ・難しいことがらを考え抜くための集団づくりに関する学習

その他、必要に応じていろいろな教育・学習の機会を考えています。

教育・学習に限らず色々な関心をもちよることのできる演習になればと考えています。

※学校外学習はもとより、場合によっては合宿が含まれることがある。

担当教員からのメッセージ



わたしが関心を持ってきたい領域は「教育・学習」論です。また、研究テーマとして取り組んでいるのはマイノリティ問題です。いわば、人がマイノリティ問題について学ぶ機会や、方法、意味や価値そのものについて関心をもっています。抽象的ではありますが、社会福祉と教育・学習論のあいだを「むすんだり」、「ほぐしたり」、時にはその「すきま」自体を考えていたりしようと考えています。ゼミのメンバーとなる方々にもこのような課題に積極的に関心をもとうとする姿勢を求めます。

それほど楽ができるゼミではありません。時に厳しいかもしれません。

しかし「広い意味でおもしろく、意味がある」時間を受講する皆さんと創っていきたいと思っています。

よろしく。